

平成 27 年度
第 9 回安城市スポーツ振興計画策定委員会
議事録

日 時	平成 27 年 7 月 29 日（水）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
場 所	安城市体育館 3 階第 4 会議室
出席委員	平岩文雄会長、横山修副会長、加藤治好委員、石川孝一委員、藤浦快也委員、岩月俊二委員、高畑尚弘委員、稲垣寿隆委員、杉浦宏惇委員、稲垣寿隆委員、鈴木憲生委員
欠席委員	笠原喜美江委員、森下秀一委員、吉田祥子委員、石川恭委員、近藤金光委員、山本新平委員
事務局出席者	生涯学習部長、スポーツ課長、スポーツ課市川係長、スポーツ課籠瀬係長、スポーツ課河村
委託業者出席者	都築
次 第	1 市民憲章唱和 2 あいさつ 【議 題】 1 第 2 次安城市スポーツ振興計画（案）について 2 第 2 次安城市スポーツシンク計画概要版（案）について 3 今後の計画策定スケジュールについて その他

（事務局）

お暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、平成 27 年度第 9 回安城市スポーツ振興計画策定委員会を始めさせていただきます。

それでは、市民憲章唱和をお願いします。

1 市民憲章唱和

2 あいさつ

（事務局）

会議に先立ちまして、平岩委員長よりご挨拶申し上げます。

（平岩委員長）

改めまして委員の皆様、こんにちは。

大変ご多用の中、お集まりいただきましてありがとうございます。台風一過で、途端に暑くなり、熱中症になりやすくなっています。熱中症予防には、こまめに水分を補給

するのが大切なので、皆さまも十分にお体にお気を付け下さい。先日、TVを観ていたら陸上の日本選手権で、陸上女子 200mで安城学園高等学校の中野選手が映り、地元の人が活躍する姿を観て、大変嬉しくなりました。安城の星がまたひとつできました。

7月19日に、観戦事業で安城市体育館にインディアカの選手に来ていただきました。8月25日に開催される、第4回インディアカワールドカップに出場する「安城市のカラー」、「飛島村の飛翔」が来ます。私はインディアカを観戦したことはありませんでしたが、実際に観戦してみると、バレーボールのようなラリーが長く続き、選手の迫力あるジャンプなど、大変感動しました。試合後は一般の方に指導会をしましたが、参加者も楽しそうに、笑顔で声を出していました。観戦事業で感じたことは、「スポーツを観る・スポーツをすることは、人を笑顔にする」ことだと実感しました。この大会でもスポーツ推進の会長もお手伝いいただきありがとうございました。我々、体育協会とスポーツ推進と協力し、永く活動をしきたいと思っています。

本日は、パブリックコメント前の最終会議なので、内容を今一度確認して頂き、引き続き、お知恵を拝借したいと思います。どうぞよろしくお願いします。

(事務局)

続きまして、生涯学習部長よりご挨拶をお願いします。

(生涯学習部長)

委員の皆さま、こんにちは。先ほど、平岩委員長からお話を頂いたように、地元の人が出場されると、応援にも力が入り、観戦も楽しみになります。今後も地元選手が活躍できるように、皆さまのご協力とご尽力を頂き、スポーツの振興に努めていきたいと思っています。

本日より近畿地方では高校総体が開催されました。定時制の総体も開催されており、安城市からも多く出場されているので、応援していきたいと思っています。

本日はスポーツ計画の最終的な会議となるので、皆さま、どうぞよろしくお願いします。

(事務局)

それでは議題に移りたいと思います。安城市スポーツ振興計画策定委員会規則、第4条の規定により委、員長が議長を務めることになっていますので、進行につきましては平岩委員長にお願いします。

【議 題】

- 1 第2次安城市スポーツ振興計画（案）について〔資料1〕
- 2 第2次安城市スポーツ振興計画概要版（案）について〔資料2〕

（平岩委員長）

初めに、議題1の「第2次安城市スポーツ振興計画（案）について」と「第2次安城市スポーツ振興計画概要版（案）について」事務局より説明をお願いします。

（事務局） 資料1・資料2説明

（平岩委員長）

ありがとうございました。それでは、第2次安城市スポーツ振興計画（案）、第2次安城市スポーツ計画概要版（案）についてご意見をいただきたいと思います。

（岩月委員）

安城市独自の視点が盛り込まれた内容になっていたと思います。重点政策でオリンピックの事が盛り込まれ、この委員会を一年間延長したのも、オリンピックの影響だと思います。

質問ですが、よく言われる文言で「スポーツ文化が国や地域に根付いているかは、オリンピック終了以降が大切である」と言われますが、安城市では、オリンピック終了後に安城市としては何か考えているのでしょうか。

もう1点の質問は、「オリンピック」と「五輪」のどちらの表現を使用するのでしょうか。

（事務局）

言葉の表現は正式な文言は特に決まっています。一般で多く使用されているのが、「東京2020オリンピック・パラリンピック」です。オリンピックを短くして五輪と表現することもあります。

オリンピック後については、計画の中間期がオリンピックなので、安城市で何ができるかは、具体的にはまだ考えていません。岩月委員の意見にあったように、継続していくことが大切なので、この機に、新しく継続できるものがあるのかを考えていきたいと思っています。

（岩月委員）

本日の新聞にも掲載されていましたが、ホストシティから、姉妹都市を結ぶのも良いのではないかと思います。

45 ページ図5-1表記で参加者の「参」が抜けています。

（事務局）

すみません、訂正します。

(事務局)

今のオリンピックの話の中で、オリンピックを身近に感じるにはどうすれば良いかを考えところ、安城市に選手が来てくれる事でオリンピックを身近に感じるのではないのでしょうか。安城市に選手が来る可能性が高いスポーツは、野球かソフトボールだと思います。先日、大村知事が、野球やソフトボールを愛知県に誘致したいと言っていました。来年の8月に決定するようだが、愛知県に決定したら、専用ソフトボール球場に改修し安城市に誘致をするので、オリンピックスタジアムになる可能性が高いのではないかと希望を持っています。国際交流もあり安城は姉妹都市が3つあるのも検討してもらいたいと思っています。

(平岩委員長)

ご意見をありがとうございます。他の委員の皆さまのご意見もお願いします。
例えば、ラジオ体操の数は、具体的に考えていますか。

(事務局)

町内会にお願いするのはもちろんですが、新たな展開としては企業への啓発をしていきたいと考えています。

(平岩委員長)

アイシン・エイ・ダブリュでは各職場でラジオ体操を行っていますか。

(藤浦委員)

朝のラジオ体操は全社で取り組みをしています。ラジオ体操の取り組みをしている企業が多いと思います。

(事務局)

何時からラジオ体操を行っているのですか。

(藤浦委員)

各部署、始業時間前の5分前にラジオ体操を行っています。

(事務局)

それは第一ラジオ体操と第二ラジオ体操の両方を行うのですか。

(横山委員)

第二ラジオ体操を行うことはほぼありません。

(平岩委員長)

昨年、地域の夏の朝のラジオ体操に積極的に行きましたが、第二ラジオ体操は4日で終わってしまい寂しく感じました。

(事務局)

地域のラジオ体操では、最低3日は第二ラジオ体操を行って下さいと指導はしています。

(横山委員)

子ども会の役員には、体育課が主催した講習会に参加してもらいたいのですが、出席が悪くもう少し、第二ラジオ体操を意識してもらおうと、変わってくるのではないのでしょうか。大人でも第一ラジオ体操しか知らない世代も多くいるので、第二ラジオ体操を広めていきたいと思っています。

(鈴木委員)

私はストレッチをした後に、第一ラジオ体操と第二ラジオ体操を行っています。

今の時期夏休みは期間なので普段より人数が一番多く30~40人でラジオ体操を行っています。

(事務局)

同じ時間帯で行っているのですか。

(鈴木委員)

はい。一年を通し、同じ時間帯で続けています。

(平岩委員長)

ラジオ体操の話が出ましたが、皆さまも身近な話があったら教えてほしいです。

(加藤委員)

小学校では運動会に向けて、強調週間でラジオ体操を行っています。しかし、全ての小学校で、運動会の時にラジオ体操を必ず行うとは限らないです。安城市がラジオ体操に積極的に取り組んでいることを教職員が知らないという現状があり、全ての小学校でラジオ体操が行われていません。

私は小学校と中学校の体育部会に所属しているので、各学校の体育主任に「安城市はこのようなことに力をいれている」ことを伝え、可能であれば、学校の体育授業の中でも取り入れてほしいと思っています。今後は、学校だけでなく、市民の皆さまにも、安

城市が7つの施策をアピールした方がよいと思うが、どの様にアピールをしていくかを考えていくことが大事だと思います。

(部長)

総合計画と同じ意見が市民から出ています。このような市が作った計画書がそのままではなく、すぐ取り組めるような言葉で、市民にアピールしていく必要があると思います。特に、ラジオ体操は市民に身近にあるので、馴染みやすい課題だと思います。

学校でラジオ体操が行われていない事を教育長に話をしたら、教育長は「市全体で、市民も盛り上がれば学校教育として取り組むが、先生は授業の方が大切なのでラジオ体操は後回しになってくる」との回答でした。

(稲垣委員)

以前は運動を行う前にはラジオ体操を行って下さいとあったが、最近は「短く・簡単で・早く」という簡素化する傾向になってきている。そのため、30秒ほどで終了するストレッチがメインになってきている。特に夏は熱中症になりやすいので、時間のかかるラジオ体操より簡素化した体操が好まれています。

この間の相撲大会では、冬の大会ではラジオ体操第一を行うが、夏の大会ではラジオ体操は行わず、各自でストレッチしてもらっている。しかし、私はラジオ体操が一番運動になると思っています。若い世代にもラジオ体操が浸透するようにしていきたいです。

(高畑委員)

高等学校なのですが、体育の授業では準備運動としてラジオ体操は行っていませんが、球技大会や体育大会の準備体操ではラジオ体操が取り入れられています。ちなみに、定時制の球技大会の準備体操はラジオ体操第二でした。全日制の体育大会の準備運動もラジオ体操の第二であったと記憶します。今まで私が勤務した学校では準備体操でラジオ体操を行う際は、第一より第二を使う方が多い気がしました。小学校や中学校でラジオ体操第二を学んでいなくても、違和感なく第二ラジオ体操を行えていると思います。

(稲垣委員)

実は、ラジオ体操第二を頻繁に行っているのは、保育園や幼稚園です。

(高畑委員)

では、小学校や中学校でラジオ体操第二を行っていなくても、高校で違和感なくできるのは、幼少期の記憶のおかげですね。

(加藤委員)

私は25年前に中学校の教員をしていた当時は、ラジオ体操第二が主流でした。約1か月かけてラジオ体操第二が出来るようになるまで徹底的に行っていました。しばらく

その状態は続いたのですが、ストレッチ体操が普及してきたら、ラジオ体操が一気に衰退してしまいました。ストレッチが世間で評判になっていった為に、皆がラジオ体操からストレッチになっていきました。

民放でラジオ体操の宣伝をしたら、すぐに世間に普及すると思います。地方局からで良いので、ラジオ体操をマスコミに積極的に取り上げてもらい普及していきたいです。

(杉浦委員)

地域の町内会の運動会では、市のスポーツ推進委員が主体となって動いていますが、担当のスポーツ推進委員のやり方で、ラジオ体操なのか、ストレッチ体操なのかが決まってきてしまいます。

(横山委員)

町内会の運動会については、スポーツ推進委員に任せているので、ラジオ体操を普及することは徹底していません。しかし、今後はラジオ体操を普及すべく、委員会などで話をしてみたいと思います。

(部長)

皆さまのご意見は大変参考になりました。

安城市の南吉体操など新しい体操を始めたら市民が盛り上がったので、ラジオ体操も市民が盛り上がるような企画を考えて及していきたいです。

(鈴木委員)

補足ですが、南吉体操とは、安城市のご当地ソングです。他にはAnjyo☆きらめき☆体操があり作詞作曲が南こうせつさんです。南吉体操は2011年に、その曲にあわせたストレッチの動きを付けました。Anjyo☆きらめき☆体操という名前で各保健センターにて体操教室を行っています。明日開催される、新美南吉生誕祭でPRできれば良いと思っています、

(鈴木委員)

大人はラジオ体操が完璧にできますが、子どもはできない子が多い。夏は子ども会が主催となり、早朝のラジオ体操の会は、最近では、夏休み期間中で一週間だけなど、あまりにも開催日数が短いです。子ども会の役員は大変かもしれないが、普及ということ考えると、昔のように夏休み期間中は、毎日ラジオ体操を行った方がよいと思います。そして、夏休み期間だけでなく、年間を通して、ラジオ体操に親しんでほしいです。子ども達も幼少期からラジオ体操に慣れ親しんでいると、自然と体に体操が身につくので、年間を通してラジオ体操をPRしていけたらと思います。

(横山委員)

私も、子ども会主体でラジオ体操を行っています。しかし、最近は役員が仕事を持っている方が多く、3日間通しで行っても、すべてに出席する役員はいないです。夏休みに子ども会主催のラジオ体操では限界であると感じています。解決策としては、子ども会だけを頼りにするのではなく、地域や老人会が主体となり変えていかないとラジオ体操は普及していかないと 생각합니다。そして指導する側の意識改革も必要だと思います。

(鈴木委員)

毎日ラジオ体操を行っている団体と連携して行うなど、やり方を変えていかないと普及は難しいと思います。

(事務局)

今までの話は大変参考になりました。今はマクドナルドやかんぼ生命に協力いただいています。今後はその他の展開も考えていきたいと思っています。

(平岩委員長)

ラジオ体操を真剣に行うと体に大変良い効果があると講習を受けたのだが、実際にスポーツを行う場面になるとストレッチを先に行い、足りない部分をラジオ体操から抜粋した体操を少々行います。やはりストレッチの方が短時間で行えて手軽な感じはする。ラジオ体操とストレッチの両方を行うのが良いと思います。

(事務局)

ラジオ体操の講師としてやっていて、真剣に行うと大変運動になる体操だと感じています。皆さまも一度、参加しラジオ体操の効果を実感してください。

(部長)

今、話をきいて勇気をもらいました。来年度の予算要求には有名人にラジオ体操をPRしてもらえればと思います。皆さま、ご協力をよろしくお願いします。

(鈴木委員)

ラジオ体操とは別の話になりますが、22 ページと 23 ページの学校施設開放の状況ですが利用者が3万人減っていますが、理由はなんですか。

(事務局)

ひとつは施設の修繕がかかってきますと、その時期が使えないという事になって、施設の改修も順番になってくるとも影響になってくると思います。

世の中の流れで、仕事を持つ母親が増え、土日も勤務があり、夜間は学校の施設を開放し、一昔前の、自主的に行うグループが減ってきているのも確かです。それとは別に会員を増やしていきたい。

(平岩委員長)

他にご意見はないですか。なければ最後に、議題1安城市スポーツ推進計画についてご意見がないようなので、次に進みます。

議題3今後の計画策定スケジュールについて事務局より説明をお願いします。

(事務局) 資料3に基づき事務局より説明。

(平岩委員長)

ご質問ご意見等はありませんか。ないようなので、ご了承を得たこととします。

以上で、本日の議題を終了させていただきます。

(事務局)

資料4に基づき事務局より説明

(事務局)

今回の会議は、来年度2月17日、午後1時半からこの会場で開催する予定をしています。後日案内をさせていただきますが、予定をよろしく願いいたします。

これをもちまして、スポーツ推進審議会並びにスポーツ振興計画策定委員会を終了いたします。どうも、ありがとうございました。

以上